

平成18年8月11日

各位

東京都千代田区二番町5番地5
 会社名 21LADY株式会社
 代表者名 代表取締役社長 広野道子
 (本名: 藤井 道子)
 (コード番号: 3346 名証セントレックス)
 情報取扱責任者: IR担当役員 猪熊建夫

平成19年3月期中間業績予想(連結・個別)修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成18年5月17日に公表いたしました平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

【連結】

(1) 平成19年3月期中間期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)
 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,056	29	4
今回修正予想(B)	2,146	89	39
増減額(B-A)	90	59	35
増減率(%)	4.3	200.5	800.4
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,013	33	40
(ご参考) 前年同期(平成18年3月中旬)実績	1,973	40	31

(参考) 一株当たり予想中間(当期)純利益 917円48銭

【個別】

(2) 平成19年3月期中間期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)
 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	93	7	5
今回修正予想(B)	93	3	5
増減額(B-A)	0	4	0
増減率(%)	0.0%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	378	13	12
(ご参考) 前年同期(平成18年3月中旬)実績	181	13	18

(参考) 一株あたり予想中間(当期)純利益 22円89銭

2. 修正の理由

(1) 連結業績

今回の業績上方修正におきましては、ヒロタ事業及びシューファクトリー事業等の直営店を中心とした販売戦略において売上高が向上し、更に、各事業の各コストの見直しから利益率向上に取り組んできた結果、前回発表時に見込んでいた利益を上回る見込みとなりました。

(2) 個別業績

個別に関しましては、連結業績（子会社業績）に連動し経常利益は改善いたしますが、当期利益に関しましては、当初の予想通りとなる見込みです。

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる可能性があります。

《参考》

なお、平成18年5月17日に公表いたしました通期業績予想（連結・個別）に関しましては、事業の増加及び原材料の高騰が続いていることより、今回は修正を行いません。また、通期業績予想（連結・個別）に関しまして予想の修正がでる見込みとなった場合は、直ちにご報告させていただきます。

平成19年3月期通期業績予想（連結・個別）（平成18年5月17日発表）

【連結】

(1) 平成19年3月期連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
平成19年3月期連結業績予想	4,094	75	19

【個別】

(2) 平成19年3月期業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
平成19年3月期業績予想	194	2	13

本件に関するお問い合わせ先

21LADY株式会社 経営企画担当 03-3556-2121

以 上